

いぶりの交通安全

胆振の概況 2018

● 悲惨な交通事故を減らすために

一人ひとりが、「交通事故を起こさない、交通事故に遭わない」という意識を強く持ち続けていくことが大切です。事故のない社会を築いていくため、車を運転するときは速度の出し過ぎによる危険性を認識し、歩行者に対し思いやりのある運転を心がけるよう、交通ルールの遵守や運転マナーの広報・啓発活動に取り組んでいます。

◎年齢別交通事故死傷者数（平成29年・胆振管内）

年齢層 区分	運 転 者								運 転 者 以 外	合 計
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50-64歳	65歳以上	小計	75歳未満		
件数(件)	20	164	140	128	195	204	851	116	19	870件
%	2.3	18.9	16.1	14.7	22.4	23.4	97.8	13.3	2.2	100.0%
死者数(人)	0	2	4	0	1	10	17	2	0	17人
%	0.0	11.8	23.5	0.0	5.9	58.8	100.0	11.8	0.0	100.0%
傷者数(人)	27	194	172	159	229	235	1016	133	19	1035人
%	2.6	18.8	16.6	15.4	22.1	22.7	98.2	12.9	1.8	100.0%

◎平成29年の交通事故による死者

全 国	3,694人
北 海 道	148人
うち高齢者	76人
胆 振 管 内	17人
うち高齢者	10人

◎死者数（車両乗車中）のシートベルト・チャイルドシート着用状況

区 分	平成28年		平成29年	
	全 道	胆振管内	全 道	胆振管内
着用あり	42人	7人	47人	3人
着用なし	40人	7人	37人	7人
不明	2人	0人	5人	2人
合 計	84人	14人	89人	12人

※「着用なし」の中には、シートベルトを着けていれば助かったケースがかなり含まれています。

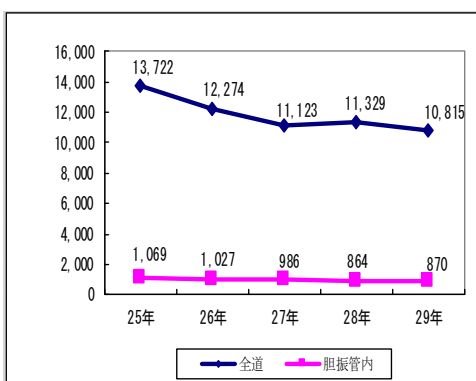
◎原因別交通事故死者数

	平成28年		平成29年	
	全 道	胆振管内	全 道	胆振管内
車両対歩行者・自転車	64人	5人	47人	4人
車両相互（正面衝突等）	53人	5人	54人	6人
車両単独（衝突・逸脱等）	38人	7人	46人	7人
踏切	3人	3人	1人	0人
合 計	158人	20人	148人	17人

- 交通事故に遭わないために
 - ・ 歩行者・自転車利用者「夜行反射材」の活用
 - ・ 全ての座席で「シートベルト、チャイルドシート」着用

◎交通事故発生件数の推移

（単位：件）



◎交通事故死者数の推移

（単位：人）

